

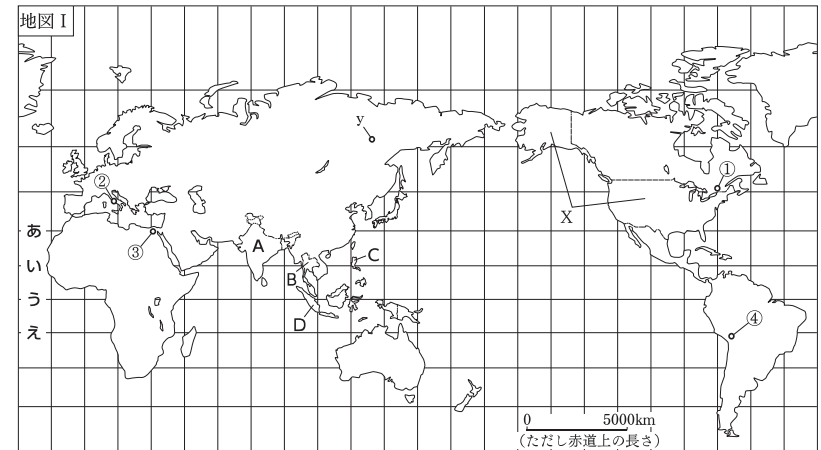
社 会
(10:20~11:10)

注 意

- 1 検査開始のチャイムが鳴るまで開いてはいけません。
- 2 問題用紙の1ページから12ページに、問題が①から④まであります。
これとは別に解答用紙が1枚あります。
- 3 問題用紙と解答用紙に受検番号を書きなさい。
- 4 答えはすべて解答用紙に記入しなさい。

受検番号 第 番

① 次の地図Ⅰを見て、あとの1～5に答えなさい。



- 1 地図Ⅰ中のあ～えの緯線の中で、赤道に当たるものはどれですか。その記号を書きなさい。
- 2 次の表Ⅰ中のア～エは、地図Ⅰ中の①～④のいずれかの都市の月平均気温・月降水量を示しています。ア～エの中で、②の都市の月平均気温・月降水量に当たるものはどれですか。その記号を書きなさい。

表Ⅰ

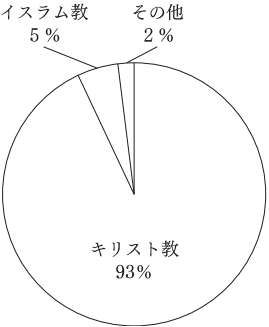
上段：月平均気温（℃）、下段：月降水量（mm）

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
ア	9.1	9.2	11.3	13.9	18.0	22.1	24.6	25.1	21.6	17.9	13.8	10.1
	73.9	74.8	59.4	42.8	39.6	13.2	8.8	19.9	65.1	74.2	96.5	75.4
イ	9.0	9.0	8.8	8.1	6.5	5.3	4.9	5.8	7.3	8.6	9.5	9.4
	124.9	119.6	82.0	30.3	14.0	9.9	7.5	11.0	29.6	48.2	44.5	108.3
ウ	-9.4	-8.1	-2.3	6.0	13.6	18.6	21.4	20.1	15.9	8.7	2.0	-5.4
	55.9	54.8	62.6	80.6	71.4	80.7	91.3	94.9	74.7	85.8	50.2	71.7
エ	13.9	15.2	17.9	21.8	25.3	27.9	29.2	29.0	27.5	24.6	20.0	15.7
	6.0	3.2	8.9	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	1.2	1.2	8.1

（気象庁ウェブページにより作成。）

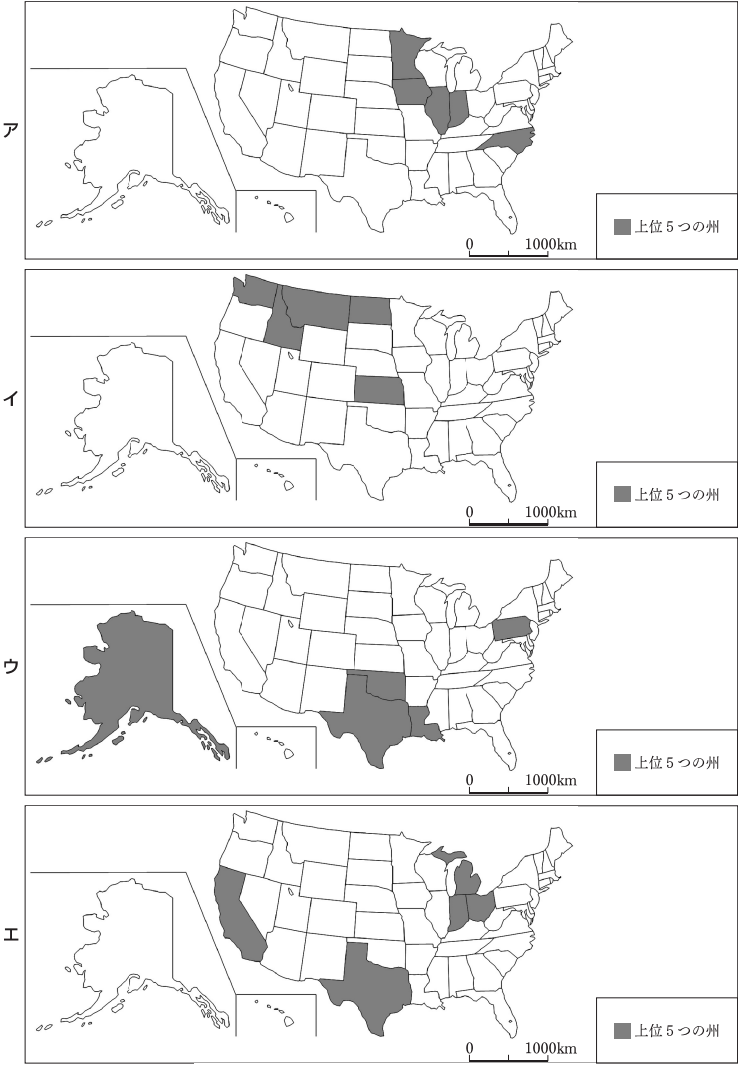
3 次のグラフ I の宗教別人口の割合は、地図 I 中の A、B、C、D のうちのどの国のものですか。
A～Dの中から最も適切なものを選び、その記号を書きなさい。

グラフ I



(データブック オブ・ザ・ワールド 2024年版により作成。)

4 次のア～エは、地図 I 中の X の国における2020年の、小麦の生産量、製造品出荷額、天然ガスの産出量、豚の飼育頭数それぞれについての上位 5 つの州を示した地図のいずれかに当たります。
ア～エの中で、製造品出荷額の上位 5 つの州を示したものはどれですか。その記号を書きなさい。



(データブック オブ・ザ・ワールド 2022年版、2023年版、2024年版により作成。)

5 地図Ⅰ中の y の都市では、次の写真Ⅰのような高床式の建物が見られます。このように建物を高床にする工夫が行われているのはなぜですか。その理由を、「永久凍土」の語を用いて簡潔に書きなさい。

写真Ⅰ



② 次の略年表は、日本の文化に関することがらについてまとめたものです。あとの1～6に答えなさい。ただし、略年表中のあ～えは、それぞれ $\longleftrightarrow$ の示す期間を表したものです。

世紀	日本の文化に関することがら
8	A 神話や伝承、記録などを基に「古事記」がつくられる。
9	
10	
11	B かな文字を用いた「源氏物語」が書かれる。
12	
13	
14	C 後鳥羽上皇の命令で「新古今和歌集」がまとめられる。
15	
16	
17	D 農業の知識や技術を記した「農業全書」が書かれる。
18	
19	

1 次のア～エの中で、Aの頃につくられた書物として適切なものはどれですか。その記号を書きなさい。

ア「枕草子」 イ「平家物語」 ウ「解体新書」 エ「日本書紀」

2 次の文章は、Bの頃の政治について述べたものです。下のア～エの中で、文章中の に当てはまる内容として最も適切なものはどれですか。その記号を書きなさい。

藤原氏は、 し、権力を強めた。その中で地方の政治は、ほとんど国司に任せられるようになり、任期中に財産をたくわえる国司が増えた。

ア 将軍の力を弱め、執権の地位に就任 イ 摂政や関白に就き、一族で官職を独占
ウ 分国法を定め、武士や農民を統制 エ 守護大名をおさえ、南北朝を統一

3 次の文章は、Cの頃の将軍と御家人との間の主従関係について述べたものです。文章中の に当てはまる適切な語を書きなさい。

将軍が、御家人の領地を保護したり、新しい領地を与えたりすることを御恩という。これに対して、御家人が、京都や鎌倉を警備したり、戦いが起こったときに命をかけて戦ったりすることを という。

4 次のア～エの中で、Dの頃の農業について述べた文として最も適切なものはどれですか。その記号を書きなさい。

ア 同じ田畑で米と麦を作る二毛作が始まった。
イ 干鰯などの肥料の購入が盛んになった。
ウ 農地改革が行われ、自らが所有する土地で耕作する農民が増えた。
エ 稲作が始まり、稲をたくわえる高床倉庫がつくられ始めた。

5 次の資料Ⅰは、Eの頃に政府が出した新聞紙条例の一部とこの部分に関連するできごとについて述べたものです。また、下の文章は、政府が新聞紙条例を出したことについて述べたものです。文章中の に当てはまる適切な語を書きなさい。また、文章中の に当てはまる内容を、資料Ⅰから読み取れる新聞の特徴に触れて、簡潔に書きなさい。

資料Ⅰ

〔新聞紙条例の一部〕

第12条 新聞紙あるいは雑誌や他の報道において、人をそそのかして罪を犯させた者は、犯した者と同罪とする。

第13条 政府をたおし、国家をくつがえすような言論を載せ、騒乱をあおろうとする者は、禁獄1年から3年とする。

(注) 禁獄：囚人を牢獄に監禁しておくこと

〔関連するできごと〕

民撰議院設立建白書が政府に提出された際、この建白書は非公開を原則としていたが、この建白書は「日新真事誌」という新聞によって公表され、大きな反響を呼んだ。民撰議院設立建白書は、新聞という公開の場に発表されたことによって民撰議院論争を呼び起こし、それまで政府内部だけで検討されてきた議会制度の創設という問題についての知識と関心を世に広めた。

国民が政治に参加する権利の確立を目指す運動の総称である が始まるきっかけとなった民撰議院設立建白書が提出された。その後、資料Ⅰ中の〔関連するできごと〕などが起こったため、政府は新聞紙条例を出すことにより、政府への批判が広まらないように、 しようとした。

6 次の資料Ⅱは、ある人物が日本滞在中に書いた手紙の一部を示したものです。略年表中のあ～えの中で、この手紙が書かれた時期を含む期間として適切なものはどれですか。その記号を書きなさい。

資料Ⅱ

日本全国当堺の町より安全なる所なく、他の諸国において動乱あるも、この町にはかつて無く、敗者も勝者も、この町に來住すれば皆平和に生活し、諸人相和し、他人に害を加ふる者なし。

(注) 來住す：来て住む 相和す：互いに親しみ合う

3 あとの1・2に答えなさい。

1 日本の地方の政治に関して、次の(1)～(3)に答えなさい。

(1) 次の資料Ⅰは、日本国憲法第92条を示したものです。資料Ⅰ中の に当てはまる適切な語を書きなさい。

資料Ⅰ

第92条 の組織及び運営に関する事項は、地方自治の本旨に基いて、法律でこれを定める。

(2) 次のア～エの直接請求権の内容の中で、住民が有権者の50分の1以上の署名を集めることによって首長に請求できるものはどれですか。その記号を書きなさい。

ア 条例の制定 イ 監査 ウ 議会の解散 エ 議員の解職

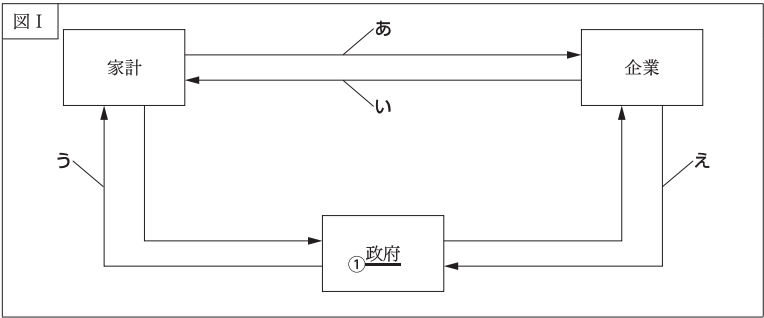
(3) 次の表Ⅰは、2022年度の大阪府、高知県、東京都の歳入の内訳を項目ごとに割合で示したものです。表Ⅰ中のあ～えには、国庫支出金、地方交付税交付金、地方債、地方税のいずれかが当てはまります。あ～えの中で、地方税に当たるものはどれですか。その記号を書きなさい。

表Ⅰ (％)

	あ	い	う	え	その他
大阪府	3.4	23.6	8.5	31.9	32.6
高知県	11.9	24.0	39.0	14.7	10.5
東京都	2.9	15.4	0.0	56.2	25.4

※小数第二位を四捨五入してあるため、合計が100.0%にならない場合がある。
(総務省ウェブページにより作成。)

2 次の図Ⅰは、経済活動における経済の三つの主体（家計、企業、政府）の関係の一部を示したものです。下の（１）・（２）に答えなさい。



（１）図Ⅰ中のあ～えの矢印（→）の中で、株式会社で働く人の労働力を表す矢印として最も適切なものはどれですか。その記号を書きなさい。

（２）下線部①に関して、政府の機関である公正取引委員会は、価格の競争がなくなることにつながる行為をした企業を指導しています。次の資料Ⅱ中の〔A店の行為〕は、価格の競争がなくなることにつながる行為として指導を受ける可能性があります。それはなぜだと考えられますか。その理由を、資料Ⅱを基に簡潔に書きなさい。

資料Ⅱ

〔X町のガソリンスタンドに関する状況〕

- ・ X町には、ガソリンスタンドがA店、B店、C店の3店舗ある。
- ・ X町の住民は地理的な条件から、この3店舗のみを利用する。
- ・ この3店舗のうち、A店の経営状況には余裕がある一方で、B店とC店の経営状況には余裕がない。
- ・ この3店舗のガソリン販売価格は、いずれも1リットル当たり160円以上で推移している。

〔A店の行為〕

〔X町のガソリンスタンドに関する状況〕の中、A店は、ガソリン販売価格を仕入れ値を大きく下回る価格まで大幅に引き下げ、30日以上にわたって、1リットル当たり140円で販売した。

4 ある学級の社会科の授業で、「昭和と令和のそれぞれの社会の様子」というテーマで、班ごとに分かれて学習をしました。次の資料は、この授業のはじめに先生が配付したプリントの一部です。あとの1～3に答えなさい。

昭和と令和のそれぞれの社会の様子

昭和は1926年から始まっており、1926年を1年目とすると、2025年は100年目に当たる。

昭和と令和のそれぞれの社会の様子には、どのような違いがみられるだろうか。

〔金融〕

①昭和の初め頃の経済の状況を受けて、1927年には預金者が一斉に銀行に押し寄せる騒ぎが起こった。当時は主に銀行の窓口で取り引きが行われていたが、令和の社会ではインターネットを利用した取り引きも盛んになっている。

〔資源〕

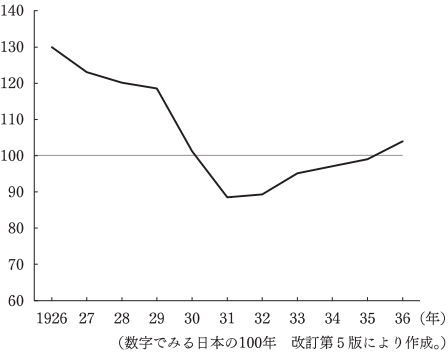
昭和の初め頃の社会では、産業の発展を支えるために、化石燃料である②石炭が主に使用された。令和の社会では、産業の発展と環境の保全を両立させるために、バイオ燃料も活用されている。

〔娯楽〕

昭和の初め頃の社会では、ラジオ放送が普及し、野球などのスポーツが大衆の娯楽として定着していった。令和の社会では、③スマートフォンが普及し、人々が楽しめる娯楽がより多様になっている。

1 下線部①に関して、池田さんは、昭和の初め頃の経済の状況について興味をもって調べ、次のグラフⅠを見付け、グラフⅠから読み取れることと当時の財政政策について調べて分かったことを関連付けて下のようにまとめました。まとめの中の に当てはまる適切な語を書きなさい。また、まとめの中の ・ に当てはまる内容はそれぞれ何ですか。あとのア～エの組み合わせの中から最も適切なものを選び、その記号を書きなさい。

グラフⅠ 東京小売物価指数の推移
(1934～36年の平均を100としたときの指数)



池田さんのまとめ

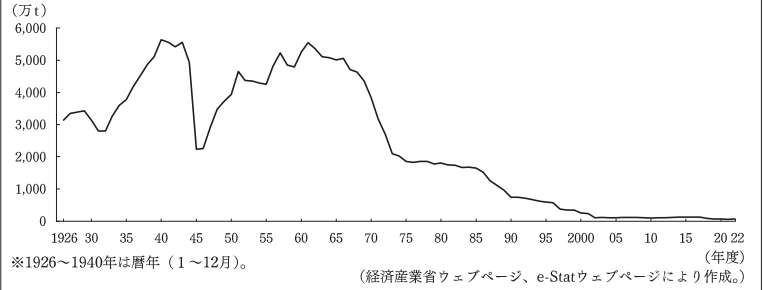
グラフⅠを見ると、1929年から1931年にかけて物価指数が急激に下落していることが分かる。このことには、1929年に始まったアメリカの経済危機の影響が各国に広がって多くの国々で深刻な不況となった が関連しており、この時期の日本では が起こっていたと考えられる。

また、1931年から1936年にかけて物価指数がゆるやかに上昇していることが分かる。この理由として、当時の政府が、不況のときには公共事業や公共投資を という景気の安定化を図るための財政政策を行っている可能性が考えられる。

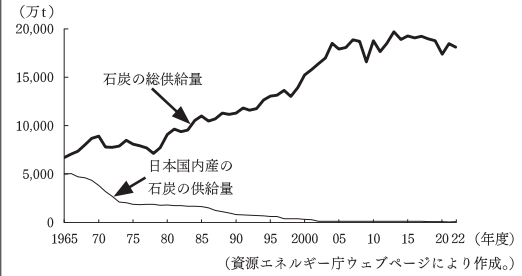
- ア インフレーション
 増やす
ウ デフレーション
 増やす
- イ インフレーション
 減らす
エ デフレーション
 減らす

2 下線部②に関して、西川さんは、昭和と令和のいずれの社会においても石炭が燃料として使用されていることに興味をもって調べ、次のグラフⅡと下のグラフⅢを見付け、日本国内の石炭の生産量が変化した理由についてあとのようにまとめました。あとの(1)・(2)に答えなさい。

グラフⅡ 日本国内の石炭の生産量の推移



グラフⅢ 日本国内における石炭の供給量の推移



西川さんのまとめ

グラフⅡを見ると、1930年代前半から1940年にかけて増加していた日本国内の石炭の生産量は、1944年度から1945年度にかけて急激に減少したことが分かる。このことには、1941年に始まった の戦況の悪化や終戦が影響していると考えられる。

グラフⅢを見ると、1960年代後半以降の日本国内では、石炭の総供給量が増加していったにも関わらず日本国内産の石炭の供給量が減少していったことが分かる。このことは、安価な ようになったことが原因の一つだと考えられる。グラフⅡを見ると、1960年代後半以降の日本国内の石炭の生産量が減少しており、これについても、安価な ようになったことが影響していると考えられる。

(1) 次のア～エの中で、まとめの中の に当てはまる語として最も適切なものはどれですか。その記号を書きなさい。

ア 第一次世界大戦 イ 太平洋戦争 ウ 日清戦争 エ 日露戦争

(2) まとめの中の には、どのような内容が当てはまりますか。簡潔に書きなさい。
なお、文章中の2か所の には同じ内容が入ります。



3 下線部③に関して、中野さんは、スマートフォンが普及したことによる社会の変化に興味をもって調べ、「デジタル・ディバイド」が広がっていることを知り、このことについて調べました。次のノートは、中野さんが調べたことをまとめたものであり、下の会話は、班員が、このノートを基に話し合いをしたときのものです。会話中の ・ には、どのような内容が当てはまりますか。それぞれ簡潔に書きなさい。なお、会話中の2か所の には同じ内容が入ります。

×

ノート

〔デジタル・ディバイドとは〕

- インターネットやパソコン等の情報通信技術を利用できる者と利用できない者との間に生じる格差のこと。

〔各世代のデジタル機器の利用状況〕

- 各世代のデジタル機器の利用状況は、グラフⅣのようになっている。

グラフⅣ

世論調査への世代別の回答割合
(質問：「あなたは、スマートフォンやタブレットを利用していますか。」)

世代	よく利用している	ときどき利用している	ほとんど利用していない	利用していない	無回答
18～29歳	95%	5%	0%	0%	0%
30～39歳	90%	10%	0%	0%	0%
40～49歳	85%	15%	0%	0%	0%
50～59歳	75%	20%	5%	0%	0%
60～69歳	60%	25%	10%	5%	0%
70歳以上	30%	20%	25%	20%	5%

(情報通信機器の利活用に関する世論調査 (2023年7月調査) により作成。)

×

西川：デジタル・ディバイドへの対策をしたら、どのようなことができるかな。

池田：デジタル機器の利用状況については、グラフⅣを見ると、 ほどデジタル機器を利用していないことが分かるよね。デジタル機器を利用していない理由の一つとして、操作方法が分からないからというものもあるだろうね。

木下：「機会の公正」の考え方を基に考えると、デジタル機器を使える人と使えない人がいると、情報に アクセスできる状況が保障されないのではないかな。

西川：これからも社会のデジタル化は進みそうだよね。そうすると、その状況が保障されることがもっと難しくなるかもしれないね。

池田：それでは、デジタル機器を使えない人にはどのような支援が行われるとよいのかな。

中山：調べてみると、X市の取り組みとして、X市が民間企業と連携して、市民を対象としたスマートフォン教室を開いていることが分かったよ。

木下：「機会の公正」の考え方を基に考えると、X市の取り組みなどによってデジタル機器を使える人が増えれば、情報に アクセスできる状況が保障されることにつながるね。